

ドミノ・数字をつなごう

年齢：4歳くらいから 人数：2～4人
デザイン：Ines Froemelt

セット内容：木製ドミノタイル 21枚



一緒に遊ぶ大人の方へ

自由な遊びは、子ども達の様々な興味や理解を深めることができます。この「ドミノ・数字をつなごう」は、ドミノタイルにデザインされている1～6の数字や絵柄で、子どもの数に対する興味を高めることができます。お子様と一緒に遊んだり数えたりしてみてください。数について一緒にお話をしたり、一緒に遊ぶうちに、言語を刺激し、数の表現力や想像力、聴覚をも養う事ができるでしょう。



ゲームのねらい

ドミノタイルには、“数字”と“数を表す絵”が描かれています。ゲームのねらいは、テーブルの上にあるドミノタイルと、手持ちのドミノタイルの“数字”や“数を表す絵”が合うかを注意深く、また素早く判断したのち、テーブルの上にドミノタイルを置くことです。



遊んでみましょう

準備

ドミノタイルを裏向きにテーブルの上に置き、テーブルの上で混ぜます。
各プレイヤーは好きなドミノタイルを4枚ずつ取り、自分の前に表向けに並べておきます。

残りの裏向きのドミノタイルから一枚選び、表向けてテーブルの真ん中に置きます。これが、ゲームスタートのドミノタイルとなります。残っているドミノタイルはそのまま裏向けて置きます。

進め方

一番年齢の低いお友達から始めましょう。

テーブル中央に置いてあるドミノタイルには、どんな“数字”と“数を表す絵”が描かれてあるか良く見ましょう。それから、手持ちのドミノタイルと比較し、同じ“数字”または同じ“数を表す絵”が描かれてあるドミノタイルを持っていますか？



はい

やったね！

テーブルにあるドミノタイルと同じ“数字”又は同じ“数を表す絵”の面を、隣り合うように置きましょう。

○ 良い例



× 悪い例



この時、必ずドミノタイルの両端のいずれかに置いてください。ドミノタイルの列は必ず1列のみです（2列以上作ってはいけません）。

ドミノタイルを置き続けるととても長くなり、テーブルからはみ出す時は、列を直角に曲げましょう。



いいえ

残念・・・

この場合、テーブルに裏向けに積んであるドミノタイルを1枚とってください。もしも、それが、テーブルのドミノタイルと同じ“数字”又は同じ“数を表す絵”であれば、すぐに置くことができます。

ドミノタイルの“数字”や“数を表す絵”が同じでなければ、表を向けて自分の前に置きます。もしもテーブルに裏向きのドミノタイルが1枚も残っていないければ取ることができません。この場合は1回休みです。



終了すれば、次のプレイヤーの番です。



終了

☆一番早く手持ちのドミノタイルを全て置いたプレイヤーが、このゲームの勝者です。

☆または、テーブルにある、裏向きのドミノタイルが全て無くなり、これ以上ドミノタイルを置くことができなくなった場合、手持ちのドミノタイルの枚数が少ない人の勝ちです。



応用編

ゲームに慣れてきたら、手持ちのドミノタイルを、数字や絵柄が他のプレイヤーから見えないように、自分の前に立ててみましょう。そうすると少し難しくなります。



一人遊び「ナンバー・スネーク」

ドミノタイルを表向けにし、テーブルの上に置きます。その中から1枚のドミノタイルを選び、これをゲームスタートのドミノタイルとします。

このドミノタイルと、“数字”又は“数を表す絵”が同じものを、テーブルにあるドミノタイルから選んでつなげます。

なるべく長いナンバー・スネークが作れるようやってみましょう。そして、ドミノタイルがなるべく残らないようがんばってみましょう。